

中央小学校だより

令和 1年 5月 15日 中央小学校 学校通信



日課が変わって・・・

超大型連休も終わり、子どもたちの元気な姿を見られてほっとしています。また仕切り直しかな・・・と思っていた学習への意欲や態度も変わりなく嬉しく思います。

月曜日は今年初めての短縮 6 限日課でした。5・6 年生は 6 限目までの授業を終え、そのあと委員会活動に取り組みました。委員会終了時間は 15:35 で、通常日課の 6 限と 5 分しか違いませんが、さすがに疲れたことでしょう。

また火曜日は 1 年生にとって 3 回目の 5 限授業日。お掃除有です。6 年生の子たちが手伝いにやってきます。まだお掃除のやり方も定着していないので、段取りもよくないですが、一生懸命に重たい机をつったり、床をからぶきしたり、たまには廊下に逃げ出して走って 6 年生に注意をされたりと、大賑わいのお掃除の時間でした。

委員会活動



今年度初めての委員会活動の時間では 7 限目にもかかわらず、子どもたちは意欲的にがんばっていました。栽培委員会は、学校花壇の花を種から育て、きれいに花が咲いてまた種ができるまでの様子を観察し、その成長を記録していくことになりました。この活動が全校に発信していけると嬉しいなと思います。学校花壇であっても身近な自然の一つだと考えます。植物の生長、そこに集まる虫、匂い、

葉の手ざわりなど、身近な自然にふれる視点は様々です。今は園芸種のパンジーやノースポールなどの間に野草の「ナガミヒナゲシ」のオレンジ色が際立っています。今年は去年よりもたくさん花が咲いていてきれいです。もしかしたら子どもたちは野草とは気づいていないかもしれません。暑くなる頃、この花壇に、栽培委員が育てた花の苗が成長し、きれいな花を咲かせてくれることを期待しています。



1年生の教室では

5 限授業の日、1 年生の教室に行きました。

「今日は“ろ”と“ら”だよ」担任の先生が言います。

「“ろ”と“ら”の似ているところはどこですか？」

「少し上がってくるっとまいているところ」「はらうところ」

『お友だちが話をしているときはお友だちの方を向きます。』

「そうですね。じゃあ違うところは？」

「まわっているところが“ろ”の方が広い」「はじめの点をはねる」

「じゃあ空書きしてみようか」

『頭を上げます』 うつむいている子に声をかけます。

「さあ 2 枚目のプリントだ。書いてみよう」

『いすを引いてね』 浅く椅子に掛けている子に声をかけます。

所々で先生の一言が入り、授業への集中を高めます。

子どもたちはさすがに 5 限目は疲れている様子です。そりゃあ
疲れますよね。今までは給食食べて「お帰り」だったのですから。これからだんだん慣れてくる
のです。がんばれ 1 年生！



とそこ、外国からやってきた 1 年生は「なかよし」の
教室で、数字を書く勉強をしていました。1 年生の教室を
出るとき必ずみんなに「行ってきます」と言って、みんなは「行ってらっしゃい！」と送り出
します。二人は、丁寧に数字を書いて先生に〇を打ってもらい嬉しそうでした。個別に学習しな
がら、先生と言葉をやり取りすることで、日本語を獲得していきます。時には英語も織り交ぜな
がら学習は進んでいきます。1 年たつとずいぶん日本語が上手になります。子どもの吸収力はすご
いですね。

自分の命は自分で守る

保育園児が散歩中に、車が歩道に突っ込み、園児 2 名が亡くなった事故があったことはまだ
最近のことです。ガードレールはなかったと報道されていました。本当に痛ましい事故だったと
思います。「自分の命は自分で守る」と私たちはよく子どもたちに言いますが、これは通常では
「交通安全には十分に注意しなさい」ということです。幼児にこのことを語るのは年齢的に無理
があるかもしれませんが、幼児でなくても、自分を守りようがない場合があります。今回のよう
な事故の場合です。

中央小学校校区の通学路は歩道が整備されていて広くとってある所もあります。商店街のアー
ケードや、広い道路沿いの歩道は広いですが、ガードレールがありません。やはり、子どもたち
には建物側を 2 列で広がることなくきちんと歩いてほしいです。登校指導に立つときは必ず声を
かけていますが、歩道だからといって、安心しきって歩くのではなく、自分たちで様々な危険を
意識して正しく歩くことが「自分の命は自分で守る」ということにつながると思います。この痛
ましい事故が少しでも教訓になればいいと思います。歩道では自転車も走っています。学校でも
繰り返し指導をしていますので、子どもたちの登下校の様子を見かけられたとき、もし広がって
歩いていたら一声かけていただきたいと思います。